

家庭・職場における消毒の方法



万が一に備え、家庭や職場で簡単にできる消毒方法を紹介します。

漂白剤で消毒可能

入手の容易さを考慮して、家庭用の漂白剤を使った例を紹介しましょう。ここで使用する家庭用漂白剤は、次亜塩素酸ナトリウムが成分である塩素系の漂白剤のことを指します。消毒用エタノール・火薬局などで入手可能）が入手可能な場合はこれらを使うことを推奨します。消毒薬の種類によっては、有機物を取り除いておかないと効果が薄れるものや、引火性、粘膜刺激性があるものもありますので、必ず使用上の注意書きをよく読み、それらを守って使用する必要があります。消毒の際には、使い捨ての手袋あるいはゴム手袋などをして、皮膚に消毒薬が付着しないようにします。

また、電化製品などを消毒する場合には細心の注意を払い、機器に水分などが入り込まないようにします。

居間・食事部屋

消毒対象

ドアノブ・窓の取っ手・照明の

スイッチ・ソファ・テーブル・イス・電話機・コンピュータのキーボードとマウス・小児のおもちゃ・床・壁など

方法

100倍に希釈した家庭の漂白剤で完全に拭きます。特に手などが触れる部分は、50倍に希釈した漂白剤を使用します。その後、「から拭き」をします。

5 100倍に希釈した漂白剤家庭漂白剤1に対して水道水99の割合にしたもの。

例、家庭用漂白剤10mlを、水道水990mlで薄めて、総量1lの消毒液を作ります。

6 50倍に希釈した漂白剤家庭漂白剤1に対して水道水49の割合にしたもの。

例、家庭用漂白剤10mlを、水道水490mlで薄めて、総量500mlの消毒液を作ります。

台所とトイレ

消毒対象

水道の蛇口・シャワーヘッド・浴槽・洗面器・ドアノブ・窓の取っ手・照明スイッチ・排水溝・水洗便器と流水レバー・便座と

フタ・汚物入れ・壁・床など

方法
便器

100倍に希釈した家庭の漂白剤とトイレブラシを使ってきれいにします。その後、水を流します。

浴槽や洗面台

100倍に希釈した家庭の漂白剤と通常のブラシを使ってきれいにします。その後、水でよくすすぎます。

排水溝

100倍に希釈した家庭の漂白剤を注ぎます。5分間経過したら、水を流して排水します。

その他

「疑い例」あるいは「可能性例」の患者が着ていた衣類・ふとんや枕カバーは、熱湯消毒(80、10分以上)してから洗濯機にかけられることをお勧めします。

この特集は、5月22日現在の情報を基に、編集しました。最新の情報については、下記のホームページをご覧になるか、大館保健所(☎52 3955)にお問い合わせください。

SARSについての主なホームページアドレス

- 厚生労働省「重症急性呼吸器症候群(SARS)関連情報」
http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/03/tp_0318-1.html
- 国立感染症研究所「感染症情報センター」
<http://idsc.nih.go.jp/others/urgent/update.html>
- 日本医師会「重症急性呼吸器症候群(SARS)関連情報」
<http://www.med.or.jp/kansen/sars/index.html>
- WHO・SARS情報(英文)
<http://www.who.int/csr/sars/en/>